

漁海況速報

6-No. 35

茨城県水産試験場
漁業無線局

令和6年11月22日～11月28日

電話 (029) 273-7911

FAX (029) 270-1480

<http://www.pref.ibaraki.jp/soshiki/nourinsuisan/suishi/index.html>

【海況図説明】

1. 黒潮は、犬吠埼の南東15マイル付近を北東に流れ、
37°30' N 142°20' E付近を流去している。
2. 本県沿岸域は、18～22℃台の水温となっている。

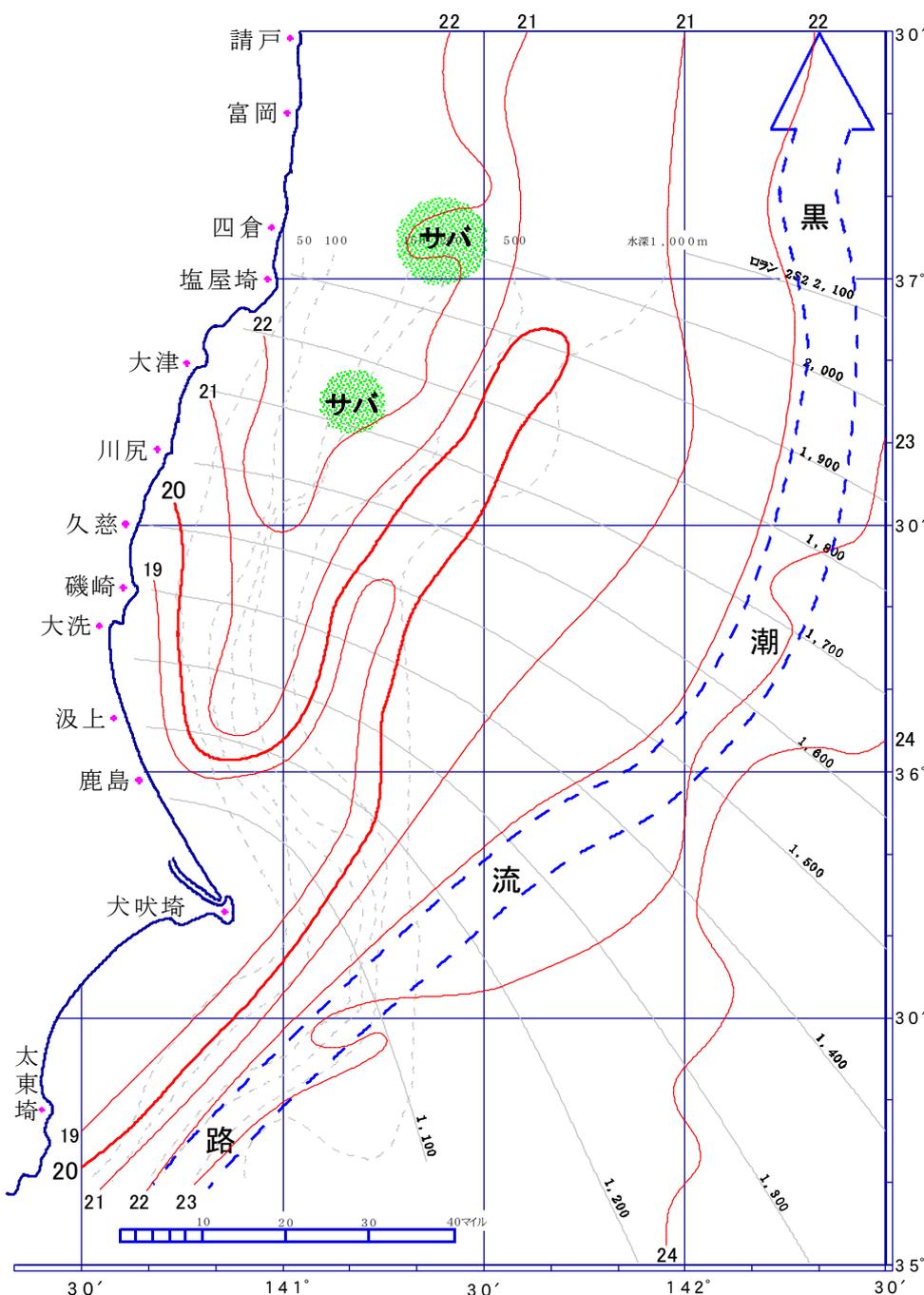
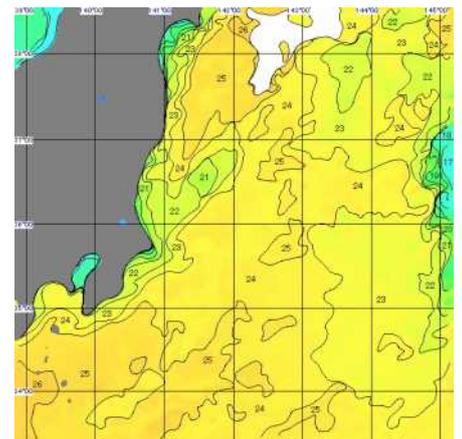
那珂湊定地水温(℃)

日	令6	令5	平年
11/22	19.3	16.7	16.1
23	18.8	17.0	16.0
24	18.5	17.4	15.9
25	18.2	17.1	15.8
26	18.7	16.2	15.7
27	19.5	16.6	15.6
28	19.2	16.8	15.5
平均	18.9	16.8	15.8

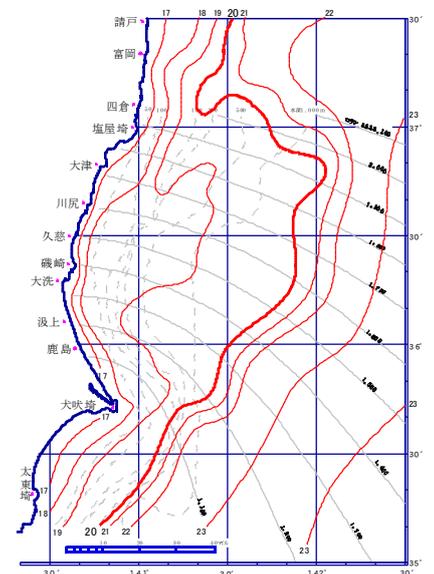
30年平均: 1991～2020年

令和6年11月22日～11月28日

【1週間合成衛星画像】



【海況図】



令和5年11月24日～11月30日

【海況図】

漁況の特徴

6-No.35

属地、単位=四捨五入

11/21~11/27

魚種	漁法	組合名	水揚量 kg	平均単価	水揚金額 円	延隻数	
シラス	船曳網	大津	4,252	1,482	6,300,500	58	
		久慈浜丸小	1,241	1,189	1,474,985	5	
		久慈町	1,515	1,334	2,020,883	7	
		那珂湊	109	890	97,000		
		大洗町	8,531	1,163	9,921,090	50	
		はさき	6,021	1,474	8,871,715	46	
ヒラメ	小底5t以上	平潟	75	1,384	103,649		
		大津	66	771	50,880		
		久慈町	5	1,000	4,800		
		那珂湊	4	1,707	7,340		
		その他釣り	平潟	123	2,124	262,104	
		大津	19	1,054	19,700		
		川尻	7	1,543	10,490		
		那珂湊	13	1,881	25,200		
	大洗町	4	1,773	7,800			
	大会	10	1,618	16,505			
マコガレイ	小底5t以上	平潟	4	738	2,952		
		大津	6	436	2,745		
タイ類	小底5t以上	平潟	1,906	358	682,763		
		大津	959	394	378,233		
		那珂湊	18	541	9,905		
		大会	64	817	52,051		
アナゴ	小底5t以上	平潟	209	439	91,705		
		大津	97	948	91,925		
		久慈町	21	641	13,650		
		那珂湊	26	1,312	33,990		
アンコウ	小底5t以上	平潟	6	1,290	8,127		
		大津	89	1,273	113,302		
		久慈町	81	845	68,230		
		那珂湊	46	1,060	48,225		
タラ類	小底5t以上	大津	15	344	4,990		
ホウボウ	小底5t以上	平潟	274	1,066	291,884		
		大津	255	863	219,960		
		那珂湊	8	1,501	11,560		
フグ類	小底5t以上	平潟	29	2,172	62,995		
		那珂湊	9	1,902	17,875		
サワラ	その他釣り	久慈浜丸小	52	1,892	98,560		
		久慈町	160	1,969	314,830		
		那珂湊	115	1,378	157,740		
		大洗町	6	1,974	12,240		
ヒラツメガニ	小底5t以上	大津	4	100	400		
スルメイカ	小底5t以上	平潟	121	451	54,665		
		大津	178	1,750	311,962		
		久慈町	119	1,238	147,660		
		那珂湊	242	1,207	292,245		
ヤリイカ	小底5t以上	平潟	126	368	46,260		
		大津	362	1,005	363,262		
		久慈町	45	791	35,200		
		那珂湊	31	1,090	33,560		
マダコ	小底5t以上	平潟	141	647	91,291		
		大津	100	720	72,041		
		那珂湊	29	1,252	36,545		
		その他釣り	平潟	41	1,299	52,602	
		那珂湊	16	1,698	27,680		
	大洗町	53	1,981	104,600			
マアジ	小底5t以上	平潟	834	146	121,829		
		大津	272	320	87,154		
		久慈町	19	300	5,640		
		那珂湊	53	327	17,351		
サバ	小底5t以上	平潟	150	37	5,500		
		大津	(172)	2,288	(山売) 394,298		
		久慈町	191	100	19,130		
		那珂湊	115	130	14,946		
		大会	17	131	2,227		
		まき網	はさき	8,288	100	828,800	
ブリ類	小底5t以上	平潟	3	256	768		
		その他釣り	平潟	6	369	2,248	
		久慈浜丸小	77	213	16,380		
		久慈町	155	171	26,485		
		那珂湊	221	278	61,567		
		大会	87	378	32,780		
カツオ	その他釣り	大津	51	581	29,405		
ビンナガ	その他釣り	大津	8	500	3,750		

注 延隻数:銘柄別隻数 大津の水揚の一部は水揚げ量・平均円共に「山売」を含む

茨城県水産試験場漁業無線局

◎

まき網

(漁獲は1投網当り)

マイワシ・・・八戸の北北東20マイル付近で5~10トン、八戸の東北東25マイル付近で1トン(1ヶ続)、岩手久慈の東15マイル付近で1~20トン、宮古の北北東20マイル付近で25~70トン、良い船で200~300トンの漁獲。

サバ・・・八戸の北北東20マイル付近で1~20トン、八戸の東25マイル付近から岩手久慈の東南東15マイル付近で1~65トン、良い船で110~130トン、塩屋崎の東北東25マイル付近で1~50トン、塩屋崎の東南東20マイル付近で25~30トン、良い船で150トンの漁獲。

◎

小型船

(漁獲は1隻当り)

◇船曳網

シラス・・・大津地先から高戸地先で3~330kg、日立地先で67~411kg、大洗地先から鹿島地先で16~553kg、波崎地先で51~273kgの漁獲。

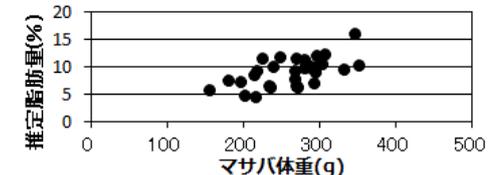
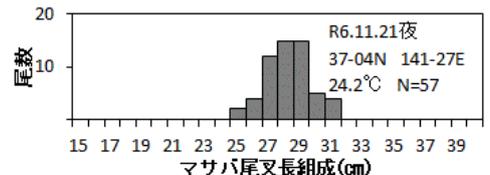
カエリ・・・大津地先から高戸地先で1kg(1隻)の漁獲。

◇曳釣り

平潟地先でヒラメ3~5kg、久慈浜地先から大洗地先でヒラメ1~3kg、イナダ2~30kg、サワラ3~10kgの漁獲。

☆塩屋崎沖でサバ類を漁獲(まき網)

塩屋崎沖でサバ類の漁場が形成され、11月22日朝、820トンが水揚げされました。マサバ主体で、サイズは尾叉長25~31cm、モード28~29cm、体重150~350g、200~250g主体、脂肪は4~16%でした。



鹿島灘はまぐりの資源状況

鹿島灘はまぐり（以下、はまぐり）は大洗以南の本県沿岸漁業の重要対象種です。その資源量は、数年に一度おこる大規模な発生に支えられています。現在の資源は、H31年以前に生まれたはまぐり（以下、H31年以前の年級群）、及びR2年級群を主体として構成されています。

水産試験場では、はまぐりの資源状況を評価するため、漁業調査指導船「せんかい（4.9トン）」による採集調査を行っています。今年の調査は、大洗町から神栖市にかけて、約4km間隔で設定した17地先の距岸200～1,600mの範囲に設けた合計97の定点において、4～6月に実施しました。各定点では調査用小型貝桁網（桁幅56cm、爪間隔24mm）を最大10分間曳網し、曳網面積当たりの分布密度を求め、鹿島灘におけるはまぐりの資源個体数及び資源重量を推定しました。

- 資源個体数・資源重量が増加 -

調査結果からR6年の推定資源量は、資源個体数が5,858万個、資源重量が6,320トンでした（図1）。殻長組成に注目すると、殻長85mm前後のH31年以前の年級群、殻長70mm前後のR2年級群が主体となっていました。また、殻長30mm前後のR4年級群の成長の早い個体が、漁場で確認され始めました（図2）。

次に、地先ごとの平均分布密度に注目すると、H31年以前の年級群が主体となる殻長85mm前後のはまぐりは、大洗町浜欠（40HL南）、鹿嶋市荒野、平井、神栖市南部保護水面及び波崎といった地点に高密度（1.5個/m²以上）に分布していました。R2年級群が主体となる殻長70mm前後のはまぐりも、同様の地点で高密度に分布する傾向がみられましたが、特に大洗町浜欠（40HL南）、鹿嶋市明石及び平井で高密度に分布していました（図3）。

R6年の推定資源量を前年（R5）の推定資源量（資源個体数5,249万個、資源重量5,024トン）と比較した結果、個体数、重量ともに増加していました。資源が増加した理由としては、R2年級群が成長し、漁場に参加したこと、併せて、成長したR2年級群の個体重量が増加したことが考えられます。

今後のはまぐり資源の利用については、R2年級群のほか、漁場で確認され始めたR4年級が主体になっていくと考えられます。近年、はまぐり資源は増加傾向にありますが、大量に漁獲してしまうと、増加した資源が、再度減少に転じる可能性があります。

今後も、はまぐり資源を持続的に利用していくためには、計画的な漁獲を継続していく必要があります。

（定着性資源部 関根 和輝）

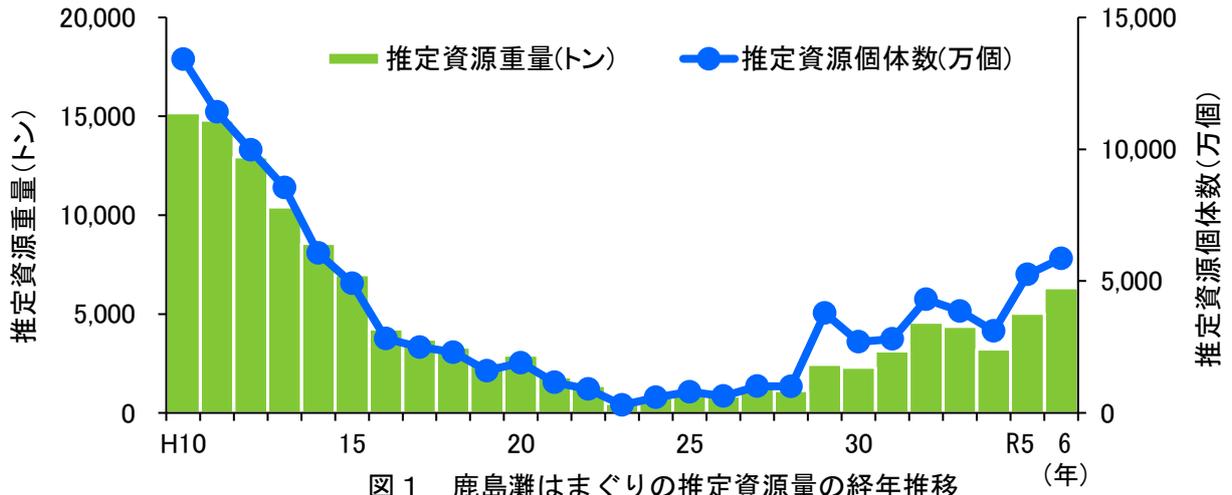


図1 鹿島灘はまぐりの推定資源量の経年推移

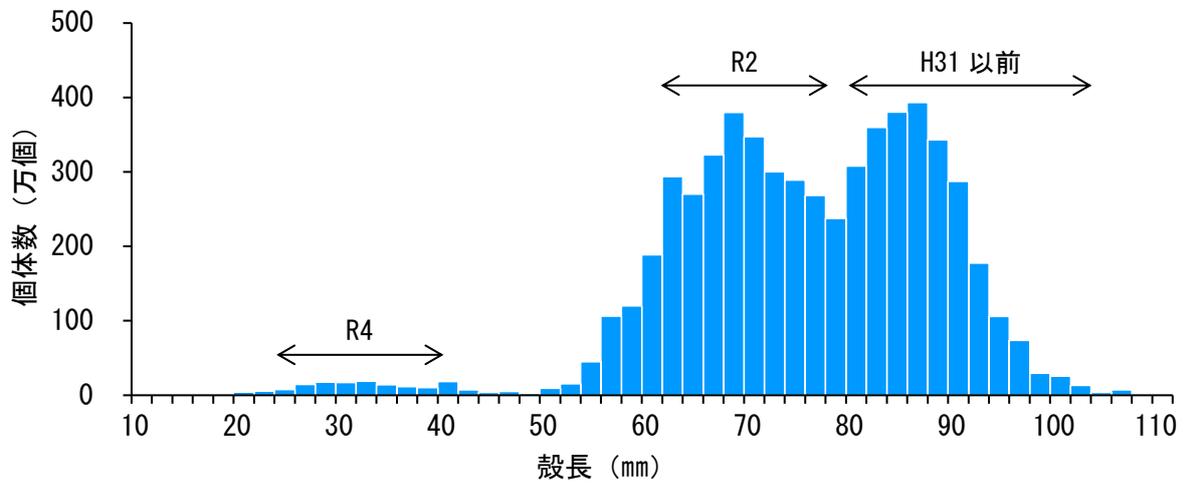


図2 鹿島灘はまぐりの殻長組成

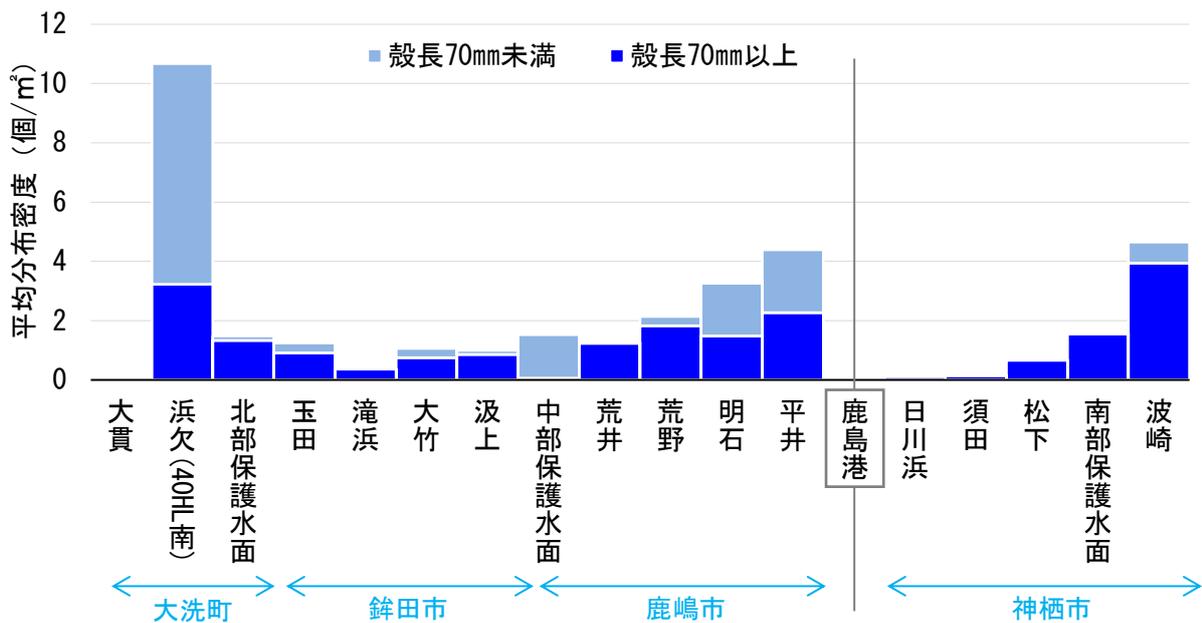


図3 鹿島灘はまぐりの地先ごとの平均分布密度